

(公社) 日本地すべり学会 関東支部・(一社) 斜面防災対策技術協会 関東支部 「令和元年度 関東支部 合同見学会」開催報告

1. 実施概要

関東支部では、平成27年度より(一社)斜面防災対策技術協会 関東支部との共催事業を行っております。今年度は、鬼怒川上流に点在するダム群のうち、五十里ダム湖右岸にある大規模河道閉塞の跡と川俣ダムでの岩盤PS工の施工現場を見学しました。以下に報告します。

- (1) 開催日：令和元年11月15日(金)
- (2) 開催場所：栃木県日光市 五十里ダム、川俣ダム
- (3) 主催：(公社) 日本地すべり学会 関東支部 および
(一社) 斜面防災対策技術協会 関東支部
- (4) 協力：国土交通省 鬼怒川ダム統合管理事務所
川俣ダム管理支所、株式会社大林組
- (5) 参加人数：14名(うち学生1名)

2. 現地見学会の内容

五十里ダム湖右岸の大規模河道閉塞は、日光地震(1683)による斜面崩壊によって発生したもので、現在の五十里ダム湖に匹敵する天然ダムができました。40年後に決壊して下流に甚大な被害をもたらすことになるのですが、その間、会津藩による開削工事が試みられています。その崩壊跡の斜面を見学しました。

川俣ダムは、鬼怒川最上流の狭窄部に施工された高さ117mのアーチダムです(昭和41年完成)。アーチを支える兩岸岩盤は、亀裂をアンカーで補強する岩盤PS工が施工されており、その更新工事が施工中です。設置するアンカーは最長75mになるそうです。見学会では、川俣ダム管理支所長と株式会社大林組監理技術者の案内で、大規模なアンカー工事の現場を間近で見学しました。

3. おわりに

最後に、見学会を合同で開催しました(一社)斜面防災対策技術協会 関東支部の関係者各位に厚く御礼を申し上げますと共に、協力頂いた川俣ダム管理支所、株式会社大林組、他関係者に厚く御礼申し上げます。



写真-1 五十里ダム湖河道閉塞跡の見学



写真-2 川俣ダムでの説明

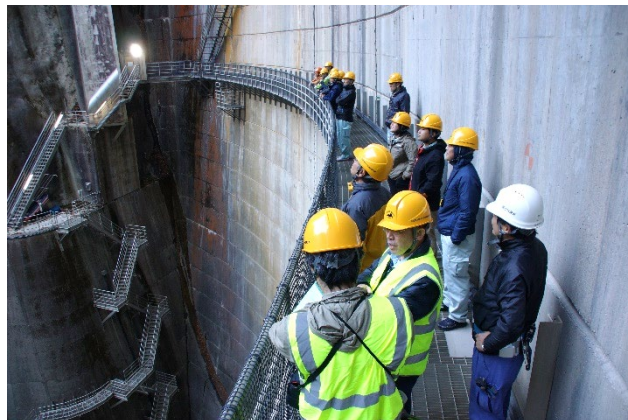


写真-3 キャットウォークからの見学



写真-4 川俣ダムでの集合写真

(関東支部幹事会 木村勝美)